

古賀市海津木苑運営委員会(令和5年度4月期) 会議録

1. 日時: 令和5年4月27日(木)15時00分 開会
2. 場所: 古賀市海津木苑 研修室

3. 出席委員(13名)

委員長	結城 弘明	副委員長	安武 正一
委員	智原 和子	委員	簗原 弘二
委員	内場 恭子	委員	吉住 長敏
委員	長崎 正幸	委員	三好 貴一
委員	長崎 裕治	委員	森 里子
委員	野村 哲也	委員	小山 貴史
委員	足立 英樹		

4. 欠席委員(1名)

三好 収 委員

5. 傍聴者数

なし

6. 事務局出席職員職氏名

市長	田辺 一城	市民部長	柴田 武巳
環境課長	吉永 ゆかり	海津木苑長	吉田 義昭
海津木苑係長	国本 勝喜	海津木苑職員	三好 弘実

概要

15:00 開会

1. 委嘱書交付
2. 古賀市あいさつ
3. 委員長あいさつ
4. 協議事項
 - 1) 会議録について(事務局より説明)
 - (1) 2月期会議録 資料.1
【質疑・意見】なし
 - (2) 4月期運営委員会会議録署名 (結城委員長・長崎裕治委員)
【質疑・意見】なし

2)海津木苑運営に関する実施状況について

(1)令和4年度年間処理状況について 資料.2

【質疑】

委員 : 総体的に2月～3月の電気・水道料金の使用量が上がっているが、原因があつてのことか。

【答弁】

海津木苑長 : 電力使用量については通常の使用量である。水道使用量3月276 m³、については脱水運転回数の増加に伴い使用量が増加した。

【質疑】

委員 : 全体的に3月分が多いが、水道使用量の影響だけか。

【答弁】

海津木苑長 : 3月分合計金額、4,725,425円となっているが、3月に活性炭の入替をおこなっており、800,000円ほど増加している。

【答弁】

環境課長 : 1kℓ当たり年間費用2,506円、昨年と比較して増えているのは電気料金が値上がりしたのが要因である。

【意見】

委員 : 電気料金の高騰が要因というのは想定内である。水道使用量については、そのような状況であれば、致し方無い。

【質疑】

委員 : 搬入量が昨年度より若干増である。その反面、汚泥の搬出量が減っている。併せて放流水が増えている。し尿等に関しては変わらないと思うが、浄化槽汚泥等において水分量が増えてきた傾向はあるのか。

【答弁】

海津木苑長 : 令和4年度2月に下水道へ繋ぎこみということで、さや団地の全量引抜を約270kℓ行った結果、浄化槽汚泥搬入量の増加となった。汚泥等において水分量は、変わらないと判断する。

(2)平成30年度～令和4年度処理状況及び維持管理費比較について 資料.3

【質疑・意見】なし

- 3)海津木苑臭気測定結果について 資料.4-1 資料.4-2
・令和4年度第3回臭気測定実施日(2月28日(火))

【質疑・意見】なし

- 4)海津木苑施設等啓発について 資料.5-1 資料.5-2

【意見】

委員 : 福祉会では色々お世話をしているが、80歳、90歳がほとんどである。講座を聞くことがどうかと思いながら計画を立てたが、皆が真剣に聞いてくれたというのが正直な感想です。啓発の部分では、思い込みや偏見をイメージ出来るように、事例をあげて高齢者にもわかりやすく説明していただいた。

【質疑】

副委員長 : 令和5年度5月より新型コロナが5類へ移行するが、令和5年度啓発の計画について尋ねる。

【答弁】

海津木苑長 : 令和4年度にオンラインで啓発した分については、継続して行っていく考えである。出前講座については増えることを期待している。
以前、小学校で親子でのリモート学習を出来ないかとの意見を頂いていたが、校長会に依頼文を提出したところ、1校ではあるが申し込みがあった。

- 5)令和4年度施設整備実績及び令和5年度施設整備計画について 資料.6

【意見】

副委員長 : 公害も出さずに40年間管理運営していただき、地元としては感謝している。令和5年度は中低濃度臭気排風ブロワーの整備工事だけになる。今から先、新施設の試運転等で大変になると思うが、最後まで管理運営お願いしたい。

【答弁】

海津木苑係長 : 他の機種については、予備機もあるので対応していく。対応が出来ない場合は、維持補修工事費として150万円の予算を計上しており、そちらの方で対応する。

5. 報告事項

・古賀市汚泥再生処理センター海津木苑について 資料

【質疑】

委員 : 40年間続いた施設が、新たになるわけだが、旧施設から新施設に変わるにあたって、何がどう変わるのか

【答弁】

海津木苑長 : 現在、搬入については、市内業者 1 社のみだが、新施設になると福津市の搬入もある。現在、他業者がきても自動ドアが開かないようリモコンで管理しているが、新施設ではトラックスケールで計量し、専用カードで受入室に入車する形になる。

既存の施設では前処理が終わった後、第 1 攪拌槽、第 1 曝気槽、第 2 攪拌槽、第 2 曝気槽 4 つの処理槽だが、新施設では 1 槽で処理を行っていく。

余剰汚泥を引き抜いて脱水運転をしなければならないが、現在はスクリープレス式で薬品を 2 種類(ポリテツ・高分子凝集剤)使用して運転しており、水分量が約 83%前後、新施設では、電気浸透型脱水機で水分量が 70%以下になり、搬出量についても減量される。

【質疑】

委員 : 分かりやすくまとめていただき、市の広報などでお知らせするべきではないか。

民間サイドで言えば、人件費はどう変わるのか。

新宮町のし尿も処理を行うというのは念頭にある施設と考えていいのか。

【答弁】

海津木苑長 : 人的配置については、現在同様 6 名配置で考えている。

新宮町も見据えているかというところだが、現在新宮町は久留米に委託し処理を行っている。福津の分も一緒に処理を行っていく上で、今後処理量が大きく下がったときに余裕があれば新宮町のし尿処理も可能になるかと考えている。

【意見】

副委員長 : 新宮町は久留米の方と長期契約をしているので、厳しいだろう。わざわざ新宮町のし尿を、ガソリン等を使用して遠くまで運ぶのは、新宮町の考え方であるので致し方ないが、1 km 少して海津木苑があるなら新宮町のシフトが変わったときには、海津木苑での受け入れ

が可能か、新宮町でのし尿等の発生量などのシミュレーションをしていただいたら、管理運営の視野が広がるのではないか。

【意見】

委員長 : 新宮との将来構想になると思うが、相手があることからトップ判断になる。こういう意見が出たということを上層部に伝えていただきたい。

【意見】

委員 : 海津木苑という位置は新宮と隣接地である。喫緊の課題であり、古賀市のことだけを考えるのではなく、施設を利用していくというのは当然のことであり、福津が今回仲間に入るのも、いい機会になったと思う。新宮は都市計画で大々的に開発される。引き続き広域化ということを考えるべきではないか。

施設を刷新すると言う事は当然、基本的に人件費は下がらないといけない。海津木苑運営の総体が削減されなければならない。当然の行き着く方向だと思う。海津木苑内で議論することではないと理解するが、トータルで経費を削減していくことを追及していただきたい。

【意見】

委員 : 色々な啓発等をおこなってきたという話は聞いているが、こういう施設を建設しますというのがなかった。運営委員が変わってきたという状況はあるが、運営委員にしっかりと伝える必要があるのではないか。

【意見】

委員長 : ソフト面・ハード面、運営のコスト面など、安定的な運営などあると思うが、分かりやすく説明するような資料等あった方がいい。所管の委員会でも要求されると思うので、準備等していただきたい。

【答弁】

環境課長 : 経緯など、どのような施設に変わるのかというものをまとめた資料は、業者に出すか、自前で作成するかは協議し、それなりの資料は整えたい。色々な場で活用する機会があると思う。

うつぎえんだよりについて

配布資料

【質疑・意見】なし

16時20分 閉会

以上

この会議録が正確であることを証明するため、会議録署名人として次に署名捺印する。

令和 5 年 月 日

委員長

印

委員長の指名する出席委員

印